

# 令和6年度シラバス

## 言語聴覚士科

神戸総合医療専門学校

科目名	授業形態	担当教員名	
構音・口腔機能の評価・訓練 I	講義	杉山 千尋・田中 義之・太田 信子・今井 絵美子・菊森 清美	
時間数（単位数）	授業回数	年次	開講時期
15 時間 ( 1 単位)	8 回	1 年次	後期

### 授業の目的・概要

機能性構音障害例の評価、診断を通じて、構音障害の評価、診断の基礎となる音声を記述、分析することに習熟すること、訓練内容を考える前に、診断が重要であることを理解し、必要な力を身につけることを目的とする。更に、運動障害性構音障害例の観察、分析し、発声発語器官の運動、構音の問題点を抽出する方法を身につけることを目的とする。また、神鈴会(喉頭摘出者発音教室)の見学を通して、発声障害者の発声、発語の実際について理解する。

### 授業の到達目標

機能性構音障害例の音声を音声記号（IPA）で記述することができる。正常か否か、構音不明瞭の訴えが構音障害であるか否か、訓練を行うか否かを考え、判断することができる。何がどう異常なのか、自分はどう考えるのか、自分のことばで表現することができる。運動障害性構音障害例の構音、発声発語器官の運動を観察、分析、記載することができる。喉頭摘出者発音教室を見学し、発声障害者の講話を聞き、食道発声等の方法、訓練について理解する。

### 授業計画

回	内容
1	1. 機能的構音障害の臨床について 2. 音声聴取と書き取りの概略 3. 音声の聞き取り（正常なスピーチ）（杉山）
2	1. 音声の聞き取り（異常のあるスピーチ） 2. 評価の概念 3. 訓練の概念（杉山）
3	症例の音声聞き取り（杉山）
4	構音の誘導の方法（杉山）
5	運動障害性構音障害ケース 呈示（太田、今井、菊森）
6	運動障害性構音障害ケース 解説（太田、今井、菊森）
7	運動障害性構音障害ケース 解説（太田、今井、菊森）
8	神鈴会見学（田中）

### 成績の評価方法と基準

種別	割合	評価基準・その他備考
筆記試験	60%	杉山
レポート・課題	35%	太田・今井・菊森
小テスト		
平常点		
その他	5%	神鈴会見学・感想提出
自由記載		

### 教科書

書名	著者・編集者名	出版社名
標準言語聴覚障害学 発声発語障害学 第3版	藤田郁代 監修	医学書院
ディサーチア臨床標準テキスト 第2版	西尾正輝	医歯薬出版
自由記載		

### 参考文献

書名	著者・編集者名	出版社名
言語聴覚療法シリーズ9 改訂 運動障害性構音障害	熊倉勇美	建帛社
自由記載		

### 備考
